

課・タイトル	L3 でんしゃやバスにのる
ねらい	電車やバスを使って移動できる。

パート	L3-1
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地までの行き方を言ったり、聞いたりすることができる。 ・自分がしたいことを言うことができる。
場面設定	<p>学生二人が学校で、雑誌に掲載されているクリスマスのイルミネーションを見て、話しています。二人は日曜日にイルミネーションを見に行くことにしました。互いに、どうやって行くか、何時にどこで待ち合わせるかを話します。</p>
場面会話	<p>用意するもの 雑誌(イルミネーションの絵入り)、恵比寿のだいたいの場所がわかる地図、恵比寿の写真、「でんしゃで」「バスで」「あるいて」の文字カード</p> <p>指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目では、地図と恵比寿の写真を見せて、恵比寿がどんなところか簡単に紹介します。 ・CDを聞いてすぐにリピートした後、聞き取りにくい語句や固有名詞などは文字で示すと学習者は確認ができて、言いやすくなります。ここでは、「でんしゃで」「バスで」「あるいて」をリピートした後、イラストの中の電車、バス、歩いている絵を指して文字カードを見せます。場面会話の練習の間、文字カードははっておきます。 ・「行きたいです」「行きませんか」「行きましょう」は未習の文型ですが、場面会話の練習では、表情や態度などで意味がわかるようにします。
練習1	<p>用意するもの 横浜までの地図、または地域の地図、日本各地の絵または写真(テキストの見返し部分も利用可)</p> <p>「乗り物で場所へ行きます」、「なんで行きますか。」「乗り物で行きます。」</p> <p>テキスト p.62,63 ①～⑥</p> <p>①～④は、「乗り物で行きます」の練習で、⑤⑥は「乗り物で来ます／来ました。」の練習です。</p> <p>② は、横浜までの地図を見て、何で行くかを言います。1)～4)を入れ替えて練習します。</p> <p>②～⑥は、イラストを見て、「乗り物で行きます／来ます」を考えて言います。</p> <p>その後、地域の地図や日本各地の絵や写真を見て、学習者同士で何で行くか聞き合います。わからなければ、スマホなどで調べてもいいでしょう。</p> <p>例：金閣寺の絵を見て、A「なんで行きますか。」 B「新幹線で行きます。」</p>
練習2	<p>用意するもの ケーキの絵または写真、その他の食べ物・飲み物の絵または写真、映画のポスター数枚、地図(日本、世界)</p> <p>「わたしは～たいです」「わたしは～たくないです」</p> <p>テキスト p.64 ①</p> <p>1)～3)の代入練習の後、飲み物、食べ物の絵または写真、地図(日本、世界)を見ながら、学習者同士で飲みたいもの、食べたいものは何か話します。</p>

はなしましょう	<p>用意するもの</p> <p>東京の路線図、原宿の写真</p> <p>できますか？</p> <p>雑誌で紹介されているパンケーキの店を見て、二人で行くことにします。お互いにどうやって行くかを言い、続けて、待ち合わせの場所と時間を決めます。</p> <p>これもできますか？</p> <p>学習者同士で、自分の家はどこか、どうやって会社や学校へ通うかを聞き合います。</p>
---------	---

パート	L3-2
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停や駅などがどこにあるか聞くことができる。 ・バスの時間を聞くことができる。 ・バスの行き先を確かめることができる。
場面設定	町の中で、通りかかった人に近くにバス停があるかどうかを聞きます。続いて、バス停に行って、バスを待っている人にバスの時間を聞きます。バスが来たら、運転手にバスの行き先を確認します。
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>バス・バス停の絵または写真</p> <p>指導のポイント</p> <p>通りがかりの人やバス停にいる人に声をかけるときは、「急に声をかけて申し訳ありませんが、教えてくださいませんか。」という気持ちを表せるように、声をかけるときの視線、姿勢、声のトーンに注意して練習させます。</p> <p>バスの運転手にも「すみません」と声をかけますが、通りがかりの人に声をかけるときのように丁寧にならないように指導します。</p>
練習1	<p>用意するもの</p> <p>町の地図</p> <div data-bbox="343 1413 868 1868" data-label="Image"> </div> <p>「店・施設」はどこですか。」-「ここです。」</p> <p>テキスト p.68¹⁾</p> <p>「ここ」「そこ」「あそこ」「どこ」の導入と練習</p> <p>テキスト p.68¹⁾</p>

	<p>学習者 A,B を立たせます。二人は道路にいる設定です。学習者 B の後ろの壁に郵便局の絵を貼ります。学習者 A が B に近づいて、「すみません。郵便局はどこですか。」と B に聞きます。学習者 B は自分のすぐ後ろの建物を指して、「ここです」と言います。</p> <p>その後、学習者を2人組にして、少し離れて、向き合って立たせます。お互いに自分の足下を指して「ここ」と言わせます。次に互いに相手の足下を指して「そこ」と言います。二人で同じ方向を見て、二人から離れた場所を指して「あそこ」と言います。最後に、どこかわからないふりをしながら、「どこ?」と言います。</p> <p>テキスト p.68①</p> <p>①の会話をした後、用意した地図を使って、①と同様の会話をします。</p> <p>学習者 A が「店・施設はどこですか。」と学習者 B に聞きます。学習者 B は地図を見て、その場所を指して、「ここ/そこ/あそこです。」と答えます。</p> <p>さらに、地図の店・施設の位置を変えて練習をしてもいいでしょう。</p>
練習2	<p>用意するもの</p> <p>なし</p> <p>「すみません。このちかくに店・施設はありますか。」-「はい、あります/いいえ、ありません。」</p> <p>テキスト p.68①~④</p> <p>場面会話1コマ目を見せて、セリフを言わせます。続いて、学習者に向かって、「この近くにコンビニはありますか。」とか、「この近くに銀行はありますか。」と聞きます。その後、①の絵を見せて、練習をします。</p> <p>②は目印になるものを示してから該当の施設の場所を伝える言い方です。</p>
練習3	<p>用意するもの</p> <p>時計の模型(針が自由に動かせるもの)、数字のカード(時刻を数字で示す用)</p> <p>「いまなんじですか。」「2じです。」</p> <p>テキスト p.70①</p> <p>時間の言い方を練習します。テキスト巻頭ivの「時間」の図表を使ってください。4時(よじ)9時(くじ)など注意する言い方は赤字で示されています。デジタル時計とアナログ時計の両方で練習をします。①の練習の後、学習者にそれぞれ時刻をデジタル時計やアナログ時計で書かせて、それを使って時刻を言う練習をしてもいいでしょう。</p> <p>「つぎのバスはなんじにきますか。」-「9じ35ふんです/9じ35ふんにきます。」</p> <p>テキスト p.70②</p> <p>②は、バス停でバスを待っている人に次のバスが何時にくるか聞きます。聞かれた人は時刻表を見て答えます。</p>
練習4	<p>用意するもの</p> <p>日本地図</p> <p>「このバスは場所へいきますか。」-「いいえ、いきません。」</p> <p>「場所へいきたいです。なんばんのバスですか。」-「番号ですよ。」</p> <p>テキスト p.70①</p> <p>バスの行き先を確認する練習と、バスの乗り場を聞く練習をします。日本地図で場所を確認してから乗り場を聞く練習をしてください。</p>

はなしましょう	<p>できますか？</p> <p>通りがかり人にバス停の場所を聞きます。バス停は病院の後ろだと教えてくれます。</p> <p>これもできますか？</p> <p>バスターミナルで大阪駅へ行きたい人が何番のバスに乗ればいいのか聞いています。バス停に着いたら、バスを待っている人に次のバスの時間を聞きます。バスが来たら、運転手に大阪駅に行くかどうか確認します。</p>
----------------	---

パート	L3-3
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地までの電車の値段、かかる時間、乗り場などを聞くことができる。 ・自分がどこにいるか、言うことができる。
場面設定	L3-1で、キムさんと恵比寿にイルミネーションを見に行くことにしたマリーさんが、車で恵比寿までの電車賃と所要時間、乗り場を聞きます。その後、キムさんから電話がかかってきます。キムさんはマリーさんがどこにいるか聞いています。
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>券売機の絵</p> <p>指導のポイント</p> <p>電話で話すシーンでは、二人は互いに反対を向いて、互いの顔が見えないようにして話します。友だちはまだ家にいることにしてもいいでしょう。</p>
練習1	<p>用意するもの</p> <p>時計の模型(針が自由に動かせるもの)2つ、路線図(所要時間を入れておく)、地図(日本、世界)</p> <p>所要時間の聞き方、時間の言い方</p> <p>「ここから場所までどれぐらいかかりますか。」-「乗り物で時間ぐらいです。」</p> <p>「場所から場所まで」</p> <p>テキスト p.74①</p> <p>①は、まず時刻の言い方の復習をします。つぎに時計で開始時間、終了時間を示して、所要時間の言い方を練習します。所要時間の練習をするときは、「～時間」と「～分/分間」の両方の言い方を練習します。口頭で練習をしたあと、ひらがなで書かせて発音を確認させます。</p> <p>アナログ時計を使って練習をした後、デジタル時計で時刻を表して練習をします。</p> <p>所要時間の言い方の練習をした後、1)～3)の代入練習をします。ここでは、「場所から場所まで」の練習もいっしょにしますが、路線図や地図を使って場所を指しながら「～から～まで」と言うことで意味もわからせます。口頭で少し練習した後で、「～から～まで」と板書して確認をさせます。</p>
練習2	<p>用意するもの</p> <p>携帯電話または携帯電話に見立てたもの2つ</p> <p>「どこにいますか」「施設・場所にいます。」</p> <p>テキスト p.75①</p> <p>電話の会話の練習は互いの顔が見えないようにして練習をします。①は地図のイラストを見て、何がどこにあるかと、人物の名前を確認した後、練習を始めます。</p>

はなしましょう	<p>用意するもの 携帯電話または携帯電話に見立てたもの、バス・バス停の絵または写真</p> <p>できますか？ 場面会話と同じ状況での会話です。イラストで金額や時間や乗り場を駅員役の学習者に確認させてから、会話を始めます。</p> <p>これもできますか？ バス停にいる人に声をかけて、行き先、料金、所要時間を聞きます。</p>
<p>アクティビティ —</p>	<p>用意するもの 日本地図(テキストの見返し部分も利用可)、ガイドブックや観光地の絵または写真、路線図</p> <p>はなしましょう 休みの日に出かけたいところを、写真や雑誌などを見て、互いに聞き合います。</p> <p>しらべましょう 自分が行きたいところを決めて、そこまでの行き方と交通費を調べます。インターネットを使って調べてもいいでしょう。調べたら、学習者同士でインタビューし合います。</p> <p>いいましょう 自分が行きたいところと行き方、交通費を発表します。わかりやすく伝えるために、写真や路線図を用意して発表します。</p>
よみましょう	<p>指導のポイント 時刻表を読みとって、質問に答えます。</p>
かきましょう	<p>指導のポイント 学校や会社までの行き方を書く練習です。書く前にまず学習者同士で再度行き方を聞き合います。その後、話したことを書きます。</p>